

第38回

全国なぎさシンポジウムin岩手

～いわての海の恵みと震災の教訓を未来へ～

人と海の接点である「なぎさ」をテーマに、海の豊かさや美しさの再発見と、東日本大震災津波からの復興と大切な教訓を未来に伝えることを目的に開催します。

2026年

11月10日 火

14:00～17:10 [開場 13:00]

入場無料 | どなたでも参加可能です
途中入退場OKです！

会場

キオクシアアイーナ いわて県民情報交流センター
7階 アイーナホール
〒020-0045 岩手県盛岡市盛岡駅西通1丁目7番1号



司会

フリーアナウンサー
千葉 星子氏

特別講演

水中写真家
高橋 怜子氏

岩手県を中心に活動するフリーアナウンサー・料理研究家。IBC岩手放送「じゃじゃTV」などに出演し、食育講演や料理教室、地域食材を生かしたレシピ・商品開発にも携わる。

世界の海を舞台に活躍する水中写真家。MBS・TBS系列「情熱大陸」にて世界の海を舞台に撮影を続ける姿が紹介される。日本テレビ系列「世界の果てまでイッテQ!」の人気企画「オーシャンズ金子」にも参加。

イベント概要

基調講演

- 国土交通省水管理・国土保全局海岸室長による
海岸行政に関する講演

こども学生発表

- 洋野町立中野小学校による海洋科学習の取組発表
- 釜石市立鶴住居小学校・釜石東中学校による防災教育の取組発表

特別講演

- 岩手大学南教授による復旧・復興に関する講演
- 岩手県立大槌高校による復興研究会の取組発表
- 桜ライン311岡本代表理事による桜の植樹事業に関する講演
- 水中写真家高橋怜子氏による海の魅力と水中写真に関する講演

パネル展示

- なぎさ風景写真、海の生き物・環境、県政150周年記念など

来場者特典

ここでしかもらえない！
シールとカード第38回全国なぎさシンポジウムin岩手
オリジナルデザイン

ぷっくりシール手作りセット

当日、受付先着順にて整理券を配布いたします。
シンポジウム終了後、整理券と引き換えに配布いたします。第38回全国なぎさシンポジウムin岩手
特別バージョン

水門・防潮堤カード

配布は一人様1枚限りとさせていただきます。

先着

100名さま

先着

400名さま

オンラインで同時配信

オンライン配信は詳細決定後、ホームページにてお知らせいたします。
右の二次元コードを読み取りご確認ください。

イベントの詳細についてはホームページをご確認ください。

※掲載内容は今後変更となる可能性があります。



第38回

全国なぎさシンポジウムin岩手

～いわての海の恵みと震災の教訓を未来へ～

入場無料

どなたでも参加可能です

13:00 受付開始

14:00 開会挨拶

岩手県知事

達増 拓也



14:10 基調講演

美しく、安全で、いきいきした海岸を次世代へ

国土交通省水管理・国土保全局海岸室長

柴田 亮 氏

1999年4月に建設省入省。2013年7月から2016年3月まで国土交通省水管理・国土保全局海岸室にて東日本大震災からの復旧・復興を担当。2024年7月から同省国土技術政策総合研究所河川研究部海岸研究室長、2026年7月から同省水管理・国土保全局海岸室長を務める。



14:30 こども学生発表①

洋野町のちょこっと未来を考えよう
～今、私たちにできること～

洋野町立中野小学校

山・川・海に囲まれた自然の中で、低学年から海での体験を通じて学び、高学年では海の未来を考え、守る活動に取り組んでいる。「洋野の豊かな海産物を知ってほしい」「きれいな浜を守りたい」との思いで実践した活動の成果と課題をもとに、洋野町の未来を発表する。



14:45 こども学生発表②

つながり防災、つながり未来
～鶴住居小・釜石東中が育む地域防災の力～

釜石市立鶴住居小学校・釜石東中学校

鶴住居小学校と釜石東中学校は、長年にわたり地域と連携した防災教育に取り組んできた。東日本大震災の経験と震災以前からの防災文化を受け継ぎ、小中一貫の学びを展開している。合同防災学習や自主防災活動を通じて、助けられる側と助ける側、双方の視点から学びを深めている。



15:00 特別講演①

大震災の教訓を未来につなぐ

岩手大学 理工学部 理工学科 社会基盤・環境工学コース 教授

南 正 昭 氏

専門は土木計画学、都市・交通計画、復興まちづくり。北海道大学大学院修了後、山口大学助手、カリフォルニア大学パークレー校客員研究員などを経て、2003年に岩手大学に着任。2023年からは同大学大学院総合科学研究科地域創生専攻の専攻長を務める。岩手県津波防災技術専門委員会委員長、岩手県河川・海岸構造物の復旧等における環境・景観検討委員会委員長を務め、岩手県の復旧・復興に携わる。



15:30 特別講演②

「あの日誰かが歩いた道」を共に歩く
～大槌高校復興研究会の活動～

岩手県立大槌高等学校

岩手県立大槌高等学校復興研究会は、東日本大震災から2年後の2013年に発足。町内約180地点の定点観測や、子ども・他校との交流、まちづくり、産業振興などに取り組む。「まちあるき」を通じて災害時の行動を考えるなど、地域の記憶と向き合い、未来の命を守るための活動を紹介する。



15:45 休憩

15:55 特別講演③

記憶を17000本の桜に託して

認定NPO法人桜ライン311 代表理事

岡本 翔馬 氏

陸前高田市出身。震災直後の2011年に帰郷し、会社員からNPOへ転身。認定NPO法人桜ライン311代表理事として、津波最大到達地点への桜植樹による減災活動を牽引。NPO法人高田暮舎理事長、NPO法人さくらの杜プロジェクト陸前高田常任理事も務め、移住定住の促進やまちづくりに携わる。



16:25 特別講演④

未知との遭遇が待っている海

水中写真家

高橋 怜子 氏

岩手県大船渡市出身。世界の海を舞台に活躍する水中写真家。全国ネットのテレビ番組にも多数出演し、海洋生物を追うロケや水中撮影に参加。撮影活動への密着取材などを通じて、水中写真にかけける思いや海の魅力を伝えている。



16:55 次回開催県挨拶(香川県)

17:00 閉会挨拶

13:00～18:00 パネル展示

なぎさ風景写真、海の生き物・環境、県政150周年記念などを紹介するパネル展を開催します。

会場

キオクシアアイーナ
いわて県民情報交流センター 7階
アイーナホール

〒020-0045 岩手県盛岡市盛岡駅西通1丁目7番1号

アクセス方法

- 東北自動車道盛岡ICから車で8分
- JR・IGR盛岡駅から徒歩4分

※会場には無料駐車場がありません。
有料駐車場をご利用いただくか
公共交通機関等で御来場ください。



河川
基金

第38回全国なぎさシンポジウムin岩手は
公益財団法人河川財団による河川基金の
助成を受けています。

主催 「第38回全国なぎさシンポジウムin岩手」実行委員会

後援 国土交通省、農林水産省、環境省、観光庁、(公財)河川財団、(一社)全国海岸協会、岩手県河川海岸協会

【お問い合わせ】

第38回全国なぎさシンポジウムin岩手実行委員会(岩手県県土整備部河川課) TEL.019-629-5907

岩手県河川課
ホームページで
情報発信中!!



岩手県 河川課 検索